

(令和7年8月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	8月は、前年度と同様に、全国的に高温の日が続き、局地で記録的な大雨や干ばつに見舞われたため、総入荷量は前年同月比で8%下回り、総取扱金額は前年同月比で7%下回った。 9月は、野菜では、かんしょや松茸の入荷が増える。果実では、栗や梨、りんご類の入荷が増え、秋の気配が徐々に感じられる。
野 菜	野菜全般の入荷量は前年同月比で8%下回ったが、単価は前年同月並みであった。 根菜類の入荷量は前年同月比で14%下回り、単価は9%上回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で10%下回り、単価は4%上回った。 果菜類の入荷量は前年同月比で6%下回ったが、単価は前年同月並みであった。 土物類の入荷量は前年同月比で6%下回ったが、高温の影響で品質が低下し単価は12%下回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月比で7%下回ったが、高温の影響で品質が低下し単価は3%下回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月比で11%下回り、単価は10%上回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で16%下回り、単価は3%上回った。 梨類の入荷量及び単価はともに前年同月並みであった。 もも類の入荷量は前年同月比で12%下回り、単価は12%上回った。 ぶどう類の入荷量は前年同月比で6%上回り、単価は7%下回った。 メロン類の入荷量は前年同月比で18%下回ったが、高温の影響で品質が低下し単価は5%下回った。 すいか類の入荷量は前年同月比で15%下回ったが、需要が少なく単価は9%下回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん 西洋にんじん	北海道を中心に、青森、兵庫などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１０％下回ったが、高温の影響で品質が悪かったこともあり単価は９％下回った。 北海道を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で２３％下回り、単価は３３％上回った。
【葉菜類】 はくさい キャベツ ほうれんそう レタス	長野から入荷した。入荷量は前年同月比で６％下回り、単価は５％上回った。 群馬を中心に、長野などからも入荷した。入荷量は前年同月比で５％下回ったが、全国的に安定した入荷があった影響で単価は１３％下回った。 岐阜を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で７％上回ったが、単価は前年同月並みであった。 長野を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で２８％下回り、単価は２８％上回った。
【果菜類】 きゅうり なす	京都、福島、愛媛、長野を中心に、北海道などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は８％下回った。 京都を中心に、徳島、群馬などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１５％下回ったが、高温の影響で品質が低下し単価は８％下回った。

とまと	北海道、岐阜を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で11%下回り、単価は10%上回った。
ピーマン	大分を中心に、青森、兵庫などからも入荷した。入荷量は前年同月比で18%上回ったが、単価は前年同月並みであった。
【土物類】	
ばれいしょ (メイクイン含む)	北海道を中心に、千葉、青森などからも入荷した。入荷量は前年同月比で10%下回ったが、高値で推移した昨年と比較して単価は24%下回った。
たまねぎ	兵庫、北海道を中心に入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は15%下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスみかん	長崎を中心に、佐賀、宮崎、和歌山などからも入荷した。入荷量は前年同月比で６％上回ったが、盆需要の高まりから単価は９％上回った。
津軽 （サン津軽含む）	長野から入荷した。入荷量は前年同月比で９％下回り、単価は４％上回った。
幸水なし	徳島を中心に、富山、長野などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は３％上回った。
もも	山梨、福島、長野を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で１３％下回り、単価は１２％上回った。
巨峰	福岡、山梨を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で７％上回り、単価は５％下回った。
シャインマスカット	福岡を中心に、山梨などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１５％上回り、単価は１０％下回った。
アールスメロン	茨城を中心に、静岡、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で２０％下回ったが、単価は前年同月並みであった。
大玉すいか	長野、山形、秋田、滋賀、北海道などから入荷した。入荷量は前年同月比で２０％下回ったが、７月の出荷量が多かったことから需要が少なく単価は１２％下回った。